

北九州革新懇ニュース

平和・民主・革新の日本をめざす北九州の会
〒803-0817 北九州市小倉北区田町 13-21 田町ビル 3 F
TEL093-592-5000 Fax093-571-4346
E-mail k-kakushinkon@ace.ocn.ne.jp

全国革新懇「三つの共同目標」

1. 日本の経済を国民本位に転換し、暮らしが豊かになる日本をめざします。
2. 日本国憲法を生かし、自由と人権・民主主義が発展する日本をめざします。
3. 日米安保条約をなくし、非核・非同盟・中立の平和な日本をめざします。

北九州革新懇 インタビュー



プロフィール 植山 渚(うえやま なぎさ)さん 新婦人小倉南支部長・歴史講座講師。1947年大分県中津市生まれ 中津市の小・中・高校を卒業。山口大学文学部文学科東洋史学専攻卒業。九州大学大学院文学研究史学修士課程卒業。八幡大学付属高校で学生時代非常勤講師としてアルバイト。卒業後引き続き、九州国際大学付属高校(名称変更)の教諭として35年勤める。家族 夫、2男、1女。

今回は、新婦人小倉南支部長として活動している植山渚さんを有馬和子世話人と黒坂がお話を伺いました。

・新婦人小倉南支部長として

新日本婦人の会—新婦人は1962年平塚らいてう、いわさきちひろなど32人の呼びかけで創立。現在個人加盟では日本最大の女性団体です。暮らし、子育て、平和など女性の願いを実現するため活動しています。2003年春から国連NGOとして正式に認証され、世界の女性と連携し

・歴史講座の講師として

小倉北区生涯学習総合センターで、月1回「日本近現代史」の講師を3年続けています。お話を受けたのは、北九州市立大学の中道教授の「ド

活動を広げています。新婦人小倉南支部は会員では福岡で2番目、新婦人新聞の読者は一番多い支部として活発に活動を行い、会員・読者の維持拡大に江藤恭子事務局長を先頭にみなさん力を合わせて頑張っています。

イツ文学」が終了し、会員のみなさんの要望で近現代史の学習をすることになり、私が講師を引き継ぎました。参加者は高校生時代に充分勉強が

できなかった70歳代の方が多く、「なぜあんな戦争になったのか知りたい」との要望があったのです。(参加者30名位)

最近では中国が隣の国なのによく知らないとの声が上がリ、北京原人から「中国史」を学び、現在アヘン戦争まで行っています。次回は「日本の歴史講座」も計画、旧石器時代から始めましょうと話しています。どなたでも参加できます。(会費は1回500円。毎週第4金曜日13時より小

・革新運動に参加するようになったのは

私は養女で、母となった人の一人息子(養子)がトラック島で戦死、養子の兄も広島で被爆した話を子供のころから聞いていたので、高校時代から原水禁運動に参加。教員になってから「母と婦人教師の会」などに参加し、そのころから原発は悪いと考えていたので、原発再稼働には絶対反対です。高校教師時代には部落解放同盟の

・イタリアのオペラに参加

中学校のときからオペラが好きで、来日したマリアカラスの公演を親戚のテレビを見てワクワクしたことを覚えています。山口大学コーラス部に入ったころ、「沖縄をかえせ」の運動が盛んで「歌劇沖縄」が作曲されコーラス部でも練習しました。九州大学大学院の入試と重なり福岡公演に参加できなかった残念な思いがあります。定年が近づいてきた55歳の時、何か始めたいと思っていたところ、北九州シティオペラ「アイダ」に参加、以来15年位になります。週1回の練習があり、イタリアの指揮者を招いて本格的なオペラを学ぶようになりました。2015年イタリアの合唱団に招かれ、レッツエ(日本では京都のようなところ)の劇場で「蝶々夫人」の公演に参加しました。素人集団がプロと一緒に歌うことは珍しいことらしいですが公演は大成功しました。今年2月にはイタリアではAクラスのトリエステという市の劇場に招かれ、憧れの有名なオペラ歌手のディミト

・今後の課題として

まず安倍政権打倒でしょう。いまの安倍内閣が進めようとしている、憲法改悪、戦争する国づくりなど許してはならないと思っています。孫も4人いるので安心して暮らせる平和な日本を絶対に残したいですね。そのためにも安倍政権に変わ

倉北区生涯学習総合センター)。小倉南区では小倉南新婦人の小グループとして、月1回第2金曜日、13時30分徳力の広徳市民センターで近現代史の学習会を行っています。(参加者は10人前後、会費は200円)。11月23日には人権連の主催(福岡県粕屋市)で改憲反対の学習会を行います。改憲の推進力となっている「日本会議」に詳しい講師を迎える予定です。ぜひ革新懇のみなさんも参加してください。

教育介入について反対してきました。10年越しの福岡県同和教育研究協議会(県同教)の裁判では人権連の一員として勝利したことは喜びです。「部落差別解消推進法」(部落差別固定化法)が成立しましたが、仁比そうへい参議員、藤野保史衆議員、高瀬菜穂子県議とともに撤廃に取り組んでいます。



上演後のカーテンコールで盛大な拍手を贈るトリエステ歌劇場の観客たち＝北九州シティオペラ提供「毎日新聞2017年4月12日」

ラ・テオドシユさんと一緒に舞台に立ちました。イタリアでは「オペラ」は文化遺産として文化庁の支援があり、オペラの合唱団員は10年たてば年金が付き安心して活動できるとのことでした。

る新しい国民のための政府をつくりたい。あとは歌です。舞台に立てる間は続けたいです。有馬さんの年齢(87歳)まで美しい声を出し続けたいものです。

お忙しい中ありがとうございました。

北九州革新懇が第18回総会を開催

北九州革新懇第18回総会が9月9日開催され、全国代表世話人の五十嵐仁さんが「市民と野党の共闘で政治革新の道を切り開こう」と題して、記念講演を行いました。参加は90名で、会場いっぱいとなり、ユーモアたっぷりの講演に参加者の笑いが会場に広がりました。感想文では、●勝利の方程式を解く、新たな政治文化を身につける。とてもよく感じました。ありがとうございました。いい時間でした。(女60代)●ユーモアの中で本質をつくお話、分かりやすい話、すばらしかった---久しぶりの感動「トランプのペット」→「トランペット」、「カゴイケ」→「カンゴクイケ」、「トランプなのにハートがない」、シニア・レフト、「アベ首相より先に倒れない」ようにガンバロー(男70代)●大変ユーモアをまじえての話にわかりやすかった。この話しぶりをあちこちで拡げてもらって大同



団結で悪政に立ち向かう力を出し合えばよいと思いました。このようないろんな立場の人たちが悪政に向かって戦うよう広げていきたいと考えました。(男70代)●ユーモアたっぷりのお話に楽しい学習会でした。野党共闘の実現でアベ政権を倒すことを本当に実現したい。民進党に対する不安もありましたが、先生の転成仁語を読み、少し安心できました。安倍を倒すまで倒れない！を合言葉に頑張りたい。(女60代)と大変好評でした。

小倉南革新懇の美濃部勝さんが、北九州革新懇総会を全国革新懇に投稿。「革新懇の風FAXニュース」596号(2017年9月12日全国革新懇事務局)に掲載され全国に報道されました。全文を掲載します。

無党派層に働きかけ、「力を合せれば勝てる」

9月9日、福岡・北九州革新懇は総会を開催。五十嵐仁さん(法政大学名誉教授・全国革新懇代表世話人)が「市民と野党の共闘で政治革新の道を開こう」という題で記念講演をしました。五十嵐さんは「市民と野党の共闘重視の『ニュー前原』にならなければ民進党の再生は困難だ」と指摘。「力を合せなければ勝てない」という冷静な認識と「力を合わせる事ができる一致点がある」とのべ、市民と立憲野党は「力を合わせれば勝てる」ことを強調しました。5党合意で参院選1人区での11人の当選、新潟県知事選、仙台市長選などいわゆる「勝利の方程式」を紹介しました。「小選挙区制では25%の支持で大勝することになります。50%の無党派層に政治に関心を持たせることが重要です」と述べ、



それには「①現実を無視しない②あきらめない③忘れないこと」の3つを挙げました。(小倉南革新懇美濃部勝)

安倍9条改憲NO！八幡市民アクション結成へ

八幡西革新懇 嶋國勝

安保法制(戦争法)の教皇から、9月15日、「戦争法廃止！八幡地区実行委員会」は『総会』を開いた。2015年6月に結成した八幡地区実行委員会は、この間、集会・デモ等、黒崎駅前行動は延べ50回を超え、地域の取り組みと併せて署名は1万筆以上を集めた。さらに宗教者・大学教授等これまでにない人々の参加で運動が拡

がったと総括した。

5月3日、安倍首相は突如「憲法9条に自衛隊を書き込む」の発言で、改憲への動きが急速に強まった。一方で中央は『安倍改憲NO！全国市民アクション』が結成され、3000万署名を目標に「安倍9条改憲に反対」する一大運動の展開が呼び掛けられている。

こうした情勢で、戦争法廃止！八幡地区実行委員会『総会』では、現組織から新しい名称を「安倍改憲NO！八幡市民アクション」とすると決定した。安倍9条改憲に反対の一点で協力できる団体・個人に幅広くよびかける。安倍9条改憲に反対する宣伝・3000万署名運動に全力で取り組む。

◎ 当面の行動

- ◆ 宣伝・署名活動 黒崎駅前 毎月2回 第2、第4金曜日
- ◆ 新組織発足集会(学習会) 10月19日(木) 会場未定



9月19日黒崎駅での宣伝署名行動

72年の平和つなぐ 各地で一斉にアベ政治許さない

「アベ政治を許さない」ポスターを一斉に掲げるスタンディング宣伝行動が3日、全国各地で取り组まれました。国会正門前には約80人が集まり、「憲法破壊の安倍政治を許すな」「戦争法を廃止せよ」と声を上げました。



(写真)国会に向かって「アベ政治を許さない」ポスターを掲げる人たち=3日、国会正門前



戸畑区では、戸畑革新懇の第23回目のスタンディング宣伝行動が行われました。